

子どもといる暮らし

これからお子さんを迎えるご夫婦と、いま子育て中のご夫婦を中心にお話を伺いました。

FAMILY EPISODE



touchメンバー / 津波
スタッフ / 樋口・本橋・土井
保育見守りスタッフ / 柏市社会福祉協議会ボランティア
撮影 / 河越 集合写真 / 琴浦

三好：これからお子さんを迎えるご夫婦と、いま子育て中のご夫婦を中心にお話を伺っていきたくと思います。プレママの戸村さん、いま、子育てについて一番の関心ごとは何ですか？

戸村 (ママ)：いまは出産に関する一番関心がありますが、新生児の授乳サイクルについては気になります。眠れないのはつらいかな？とか。

西塔 (ママ)：生後3か月くらいからしっかり寝てくれるようになり、離乳食が始まってからは生活が安定してきました。

瀧 (ママ)：授乳サイクルはお子さんそれぞれ違うと思いますが、私は産後のマタニティブルーがとてもつらかったです。市のBPプログラム (P9) で、先輩ママから生後半くらいになると生活も落ち着いてくると学びました。夫の助けもあり、その日がくると思ったらがんばりました。

瀧 (パパ)：授乳している期間は僕も夜一緒に起きて、妻には先に寝てもらいました。土日は妻がひとりになれる時間をとってもらいました。

足立：授乳時間は個人差があるので、わが子のタイプに合わせて成長をサポートすることが大事です。それをパパとママで共有できるといいですね。

鍛冶田：この時期、ママはすごく気を張っているの、パパのサポートがとても助けになります。

三好：子育てに関する情報はどこから得ていますか？

西塔 (ママ)：はぐはぐ柏 (P12) はとても参考になりました。LINE (P12) 登録もしています。いまは地域子育て支援拠点 (P11) で遊んだり、一時預かり (P10) を利用したりしてリフレッシュしています。

瀧 (ママ)：私はInstagramとLINE、子育て支援施設にあるチラシを見ていま

す。マタニティから生後6か月くらいまで支援の空白を感じます。その時期の情報の取り方があれば教えてほしいです。

鍛冶田：保健師が訪問や相談を受け付けていますので、つらいときは溜め込まないで言葉にしてほしいです。また、市内4か所ある妊娠子育て相談センター (P5) でも相談を受け付けていますし、さまざまな情報が集まっていますので利用してみてください。

足立：話を聞いてほしいとき、助産師 (P6) を思い出してくれたらうれしいです。電話相談 (P8) もできます。必ず助けてくれる人がいるので、声をかけてください。

亀谷：さわやかサービス (P7) は産前2か月からですが、状況に応じてそれ以前から支援することもあります。その後はファミリー・サポート・センター (P7) と連携していきます。

清藤：みずたま相談室 (P8) や相談室ぽぽ

ら (P8) でも、子育て支援アドバイザーと気軽にお話しただけです。

戸村 (パパ)：パパも参加しやすいイベントはありますか？

西塔 (パパ)：休日に参加できるものがあれば出かけます。子どものためでもあり、妻が自分の時間を持てるようにしたい気持ちも強いですね。

三好：地域子育て支援拠点には、休日にはパパとお子さんが多く来館されているそうですよ。

三好：最後に戸村さんや、初めてママ・パパになるかたちへメッセージをお願いします。

亀谷：まずは無事の出産をお祈りしております。

西塔 (ママ)：体調のつらさはあっても、子どもはかわいいし子育ては楽しいです。自分がつらくならないようにコンディションを整えて、全力で子どもと向き合